

「台風研究連絡会」の発足について

台風研究連絡会代表 伊藤耕介

2014年6月の日本気象学会第38期第2回理事会において、以下の趣旨に基づく「台風研究連絡会」の発足が認められましたのでお知らせします。

趣旨

台風は気象学上もっとも激しい擾乱のひとつであり、台風研究に対する社会的な要請も大きい。しかしながら、台風には Madden-Julian 振動やモンスーン循環といった惑星規模現象から数 km の雲対流活動やスケールの小さい渦混合過程に至るまでマルチスケールの現象が複雑に絡み合っているうえ、渦力学に関する基礎研究・観測手法・現業予報などの幅広い分野に研究課題が存在している。そのため、個別の研究者・学生が独力で全体像をつかむことは容易ではない。

本研究連絡会では、さまざまな分野の専門家が連携し、深い理解に基づいた多面的な台風像を作り上げることが重要であるという認識のもと、第一線で活躍する研究者による講演会などの機会を設ける。そして、「これまでに何が理解され、いま何が理解されていないのか、もしくは理解することが求められているのか？ それらの理解のためにはどうすればよいのか？」

を、参加者が納得いくまで徹底的に議論する。また、本連絡会の活動が、日本における台風研究のレベルアップにとどまらず、新たなテーマの発掘へと波及するよう、密な研究連携を積極的に推進する。

代表連絡先：伊藤耕介（琉球大学）itokosk@sci.u-ryukyu.ac.jp

事務局連絡先：中野満寿男（海洋研究開発機構）masuo@jamstec.go.jp

世話人：伊藤耕介（琉球大）、沢田雅洋（気象研）、中野満寿男（海洋研究開発機構）、筆保弘徳（横国大）、宮本佳明（理研）、柳瀬 亘（東大）、山田広幸（琉球大）、吉田龍二（理研）（50音順）

ホームページ：http://www.itonwp.sci.u-ryukyu.ac.jp/Typhoon_Research_Group/

本研究連絡会は台風セミナーを主催しています。今後もセミナーや研究集会などを通じて、大学・研究機関・現業機関との連携を推進し、台風研究のさらなる発展に貢献して参ります。